

ご使用の注意ポイント

この度は弊社のフローリングをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

床材を最良の状態でご使用いただくため本書をお読みいただき正しく使用してください。

フローリングは天然の木の為、色のバラツキや節、入皮といった特徴があります。また、無垢材は、湿度に敏感です。

季節の変化や施工状況・使用環境によって、若干の反り、目隙、干割れ、不陸等を生じることがありますので、ご理解のうえご使用ください。

日常のこんな使い方に注意しましょう

● 水分に注意しましょう

水分は変色・ムクレを起こしたり、毛羽立ちや白濁を生じる原因となりますので、水槽や観葉植物等の鉢の扱いには十分注意しましょう。

また、ペットの尿などの排泄物は床材を傷めるおそれがありますので、すぐにふき取りましょう。

● 家具の脚などには緩衝材を

椅子やテーブルの脚の裏側にフェルトなどの緩衝材を貼ると、キズがつきにくくなります。

また、冷蔵庫、ピアノなど重量物の脚部には必ず保護板などで床板にかかる重量を分散し、キズやへこみ防止をしましょう。

● 熱にご用心！！ 暖房設備（エアコン、温風ヒーターやストーブ、床暖房設備等）のご使用するには、

※ **必ず加湿器をいっしょにご使用しましょう。** 乾燥しすぎは目スキ、反りや割れの原因となりますので、加湿器を同時に使用すると、室内の湿度を上げて上記の現象を軽減することが出来ます、加湿器で部屋の湿度を 50%～60%以内に調節しましょう。

※ **ホットカーペットを使用しないでください。** 熱ごもりにより目スキ、色やけ、形状変化が生じます。

※ 温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接に当たるような使い方は、目スキや反り、表面割れを引き起こすことがありますので避けましょう。

※ 床暖房使用のフローリングは絶対に**カーペットや絨毯を敷いたり、家具を置いたりしないでください。** 熱ごもりにより目スキや色やけ、反りや割れなどの問題を生じます。

● 強い日差しは避けましょう

長時間直射日光が当たると、木材は天然光線の中の可視光線成分や紫外線成分を吸収し変色していきます。

その結果は、日焼けによる変色や割れを生じます。直射日光はあたる場合には、カーテンやブラインドで遮るようにしましょう。

● カラーリング剤、漂白剤に注意しましょう

自宅でヘアーカラーリング剤、漂白剤を使用する際には、床の上に薬液をこぼさないよう注意しましょう。シミや変色の原因になります。

● 化学モップを使わないでください

クリーニングの専門業者の薬品、化学モップの使用により、天然木の変色、色ムラの発生などの事案が報告されています。注意しましょう。

● **市販のワックスを絶対に使わないで下さい！！**

ホームセンターなどに販売されているワックスの一部が大量の水分や樹脂を含んでいる場合があります。このようなワックスの使用により、フローリングの変色・膨張・突上げなどが起こります。木質床材専用ワックスを使用しましょう。

メンテナンス専用ワックスについては、弊社までお問合せください。



ご使用の注意ポイント

ウレタン塗装/UVコーティング・フローリングのメンテナンス

ウレタン塗装、UVコーティングを施した無垢材は、表面を硬い塗膜で保護されているため、汚れがついても落としやすく、合板の複合フローリングと同様、日常のお手入れが簡単とされていますが、実際のお手入れ方法や注意すべきポイントがあります。

* 日常のお手入れ方法

掃除機がけ、乾いた雑巾での乾拭きによるお手入れが基本。

水拭きをする場合は、必ず固く絞った雑巾をご使用下さい。表面が塗膜でコーティングされているとはいえ、中の素材は無垢の木材ですので、過度な水拭きはおすすめできません。**水をまいてモップを掛けたり、しっかり水を絞っていない雑巾で拭いたりするのは厳禁。**目地に水分が入り込み、木材が水分を吸収すると膨張し、反りや割れなどの原因となるため、十分ご注意下さい。

* こんなときどうする？ 汚れ落としの方法

黒ずみ・皮脂汚れ

普段、こまめに掃除をしても、どうしても黒ずみや皮脂汚れがついてしまうことがあります。そうした場合は、フローリング専用の洗剤や、10倍程度に希釈した中性洗剤等で拭いた後、固く絞った雑巾で余分な洗剤成分を拭き取りましょう。なお、洗剤は直接床に吹き付けずに、雑巾やモップにつけて使用してください。

油ハネの場合

調理中に油ハネに気付いた場合は、油が温かいうちに拭き取ります。時間が経って、べとつきが気になる場合は、油分解効果のあるキッチン用洗剤（中性）をお湯で薄め、それで雑巾を軽く湿らせて拭き取りましょう。その後は乾拭きすることを忘れずに。

食べ物・飲み物をこぼした場合

食べこぼしや飲みこぼしは放置せず、直ちに拭き取ります。特にアルコール分は大敵ですので、気付いたらすぐに拭き取ってください。べとつきがある場合は、油ハネの場合と同様の処置を施してください。

マジックインキがついた場合

フローリング専用洗剤をつけて汚れを浮かせた後、固く絞った雑巾でしっかりふき取ってください。

それでも落ちない場合は、ベンジンやエタノールで拭きます。ただし、ツヤがなくなる場合があるので、目立たないところで試し拭きをしてからご使用下さい。

汚してしまった直後であれば、消しゴムで落とせる場合がありますので試してみてください。ただし、メラミンスポンジを使用すると塗装がはがれてしまうので決して使用しないでください。

*** 洗剤や薬品等をご利用になる際は、必ず使用上の注意をよく読み、目立たないところで一度試してからお使い下さい。**

*** ウレタン塗装/UVコーティング・フローリングについては、サンドペーパーによるサンディングが厳禁です（キズになります）。**



ご使用の注意ポイント

自然オイル仕上の商品

* 普段のお手入れ方法

日常のお手入れは、掃除機がけと乾いた雑巾での乾拭きが基本。ドライタイプのフロアワイパーも有効です。植物性オイル塗装は、木材表面を完全にコーティングするウレタン塗装と違い、大量の水を含んだ雑巾を使用すると水分を吸収してしまい、表面の毛羽立ちや白濁の原因になりますので、水拭きは極力避けましょう。

* こんなときどうする？！

● 汚れやシミがついてしまったら

お醤油やコーヒー、マジックなどのひどい汚れが付いてしまった場合は、その部分を#180 程度のサンドペーパーで削り落としてから#240～320 程度のサンドペーパーで木地調整し、その部分に同じオイルを馴染ませてください。ペットの排泄物などによる汚れも同じの方法で補修できます。ただし、汚れが木材の深い層まで染み込んでしまった場合は、専門業者へ依頼した方がよいでしょう。

洗剤、化学薬品を絶対に使わないで下さい！変色の原因になります！

補修当初は再塗装された部分と、その周辺部分とでは色やツヤなどに微妙な違いが生じることがありますが、経年変化によって次第に馴染んできます。

● 毛羽立ちが生じてしまったら

水分を含んでしまい、毛羽立ってしまった場合は、ストッキングにウエスを詰め込んだもので擦ると取り除くことができます。その後、その部分を再塗装してください。ストッキングの微小な網目が毛羽立ちを取り去るのに適しています。またスチールワールでも同じ効果が期待できます。

樹種によって特に毛羽立ちが生じやすいのがありますので注意しましょう。

● 白濁が生じてしまったら

水分をこぼして長時間放置すると白濁をおこす場合があります。サンディングを行い、白濁部分を削り取り、再塗装してください。

- * 1 サンディングに関する注意点：サンディングは木目に沿って行ってください。
- * 2 再塗装に関する注意点：再塗装する場合は、元々製品に塗装されたオイルと同種類のオイルを使用してください。
オイルを少量に塗りこむように塗るのがポイント。既に一度塗装をしているため、大量に塗りすぎるとべたつきの原因になります。
- * 3 必ず、塗装しながら、きれいな乾いたウエスで余分なオイルをしっかりとふき取りを行ってください。

専用の自然オイルについては、弊社までお問合せください。

本書記載の内容については、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

製品の施工完了後、引渡時に、必ず本書をお施主様にお手渡しいただき、安全上重要な項目についてご説明ください。

